

第一節 人間らしい生き方とは

それぞれに存在する意義が

何らかの役目を持って

この世には、多種多様な生物がいて、それらが生息する環境となる大陸や大海原があります。さらには、地球を取り巻く太陽や月といった天体など、数えきれないほどのものが存在しています。形や大きさはさまざまでも、それぞれに存在している意味があり、何らかの役目を果たしているものです。一例を挙げるなら、花は華やかな雰囲気や心地よい薫りを醸し出し、ペットは人の心を癒やし、ヨーグルトに含まれるビフィズス菌は人間の腸を活性化させる作用があることで有名です。

できることが分らないと

花は花なりに、ペットはペットなりにできることがあるように、人間にも、人間だから

こそできることがあります。それを知らず、あるいは正しく認識しないで生きたなら、どうでしょう。例えば、「人生は一度きりだから、人のことなど構わず、やりたいように：」「働くのは嫌いだし、ルールに縛られるのも嫌だから、一人で気ままな生活を：」となれば、人に迷惑を掛け、不快感を与え、周りに支えられることも、認められることもありません。人として生まれても、人間らしく生きなければ、本来の役目を果たすこともできず、生まれてきた喜びも、仕合せも味わえなくなってしまう。

人間の役目とは何か

では、人間らしい生き方、役目とは何でしょうか。物を生み出す、社会を発展させる、偉業を達成する、あるいは末永く子孫を残すなどと挙げられるかもしれませんが、中には、お金をためて豊かな暮らしをすることと言う人もいれば、そうでないと言う人がいるなど、人によってさまざまな答えが挙がるのではないのでしょうか。

神は人々に真理を示されて

そうした人々に、神は生きる上で必要なことをお教えくださいます。それが、神が示されるお言葉、神示です。神のお言葉は、時代や国、文化を超えて、人々の基軸となる真理です。一部の世界だけで通用するものでもなければ、人間が作文したものでもありません。いつの時代でも、住む所が違って、川は上流から下流に流れ、太陽は東から昇って西に沈むことは変わらないように、万人に当てはまる普遍の真理といえるものです。